日南看護専門学校　単位認定試験　解答用紙

科目	老年看護学方法論2	講義時間数	15／30時間	配点	35／100点中
講師名	藤田　めぐみ	試験月日	令和6年11月25日（月）		
学籍番号		学生氏名			

【問題１】加齢による身体生理機能の変化とそれによって影響を受ける薬物動態の組み合わせで正しいのはどれか。（2点）

1. 体内水分量の減少―代謝
2. 体内脂肪量の増加―排泄
3. 血清アルブミンの減少―分布
4. 糸球体濾過値〈GFR〉の低下―吸収

【問題２】老化による身体機能の変化と薬物動態への影響との組み合わせで正しいのはどれか。（２点）

1. 血中蛋白の低下―薬効の減少
2. 腎血流量の低下―薬効の減少
3. 肝血流量の低下―薬効の増大
4. 消化機能の低下―薬効の増大

【問題３】高齢者の薬物動態について（　　）に当てはまる言葉を記入しなさい。（各１点×6）

1．高齢者では薬物血中濃度が（　①　）がりやすい。そのため、（　②　）が出やすい。
2．内服は小腸で吸収された後に肝臓で（　③　）を受ける。これを（　④　）という。
3．アルブミンと結合した薬は効果が（　⑤　）くなる。そのため、高齢者は薬の効果が（　⑥　）く現れる。

【問題４】高齢者の薬物血中濃度が上昇しやすい加齢変化（理由）を３つ答えなさい。（各１点×３）

【問題５】それぞれの状況下にある高齢者が正しく内服できるための対処方法を２つずつ答えなさい。（各2点×２）

1．多剤を服用する場合

2．嚥下機能低下のある高齢者の場合

【問題６】退院に向けた取り組みと看護の役割について（　　）に当てはまる言葉を記入しなさい。
（各1点×５）

１．安静による合併症や廃用症候群を予防するためには（　①　）を行うことが大事である。
２．行動範囲の拡大を行うときには、不快症状を出現させないためにも（　②　）にあった適度な運動と効果的な（　③　）のバランスを大事に介入していかなければならない。
３．高齢者自身が自分に自信を持ち、自己効力感を高めるためには（　④　）を活用し、ＡＤＬやＱＯＬの向上を図ることが大事である。
４．退院調整の際は、高齢者や家族が安心して退院できるように（　⑤　）と連携して退院の支援や利用できる制度や社会資源へつなげる調整をしかなければならない。

【問題７】検査前の説明で〈不安軽減の介入〉のために必要な配慮について（　　）に当てはまる言葉を記入しなさい。（１点×５）

１．できるだけ（　①　）は使わない
２．（　②　）、（　③　）、（　④　）、検査後の（　⑤　）などを具体的に伝える

【問題８】安らかな死を迎えるための〈看取りの目標〉について（　　）に当てはまる言葉を記入しなさい。（１点×５）
（各1点×８）

１．できるかぎり（　①　）に（　②　）が少ない状態であること
２．孤独死や市への（　③　）をできるだけ少なくすること
３．患者が望む（　④　）や（　⑤　）で死を迎えられること
４．家族にとって思い残すことのないケアができるように（　⑥　）を整えること
５．患者と（　⑦　）がお互いに（　⑧　）の時が持てること

日南看護専門学校　単位認定試験　答案用紙

科目	老年看護学方法論２	講義時間数	15/30時間	配点	35点
講師名	藤田　めぐみ	試験月日	令和６年11月25日（月）		
学籍番号		学生氏名			

問１（2点）	3	問２（２点）	3、4	
問３（1点×7）	① 上	② 副作用	③ 代謝	④ 初回通過効果
	⑤ 低	⑥ 高		
問４	・糸球体ろ過率の低下　・腎血流量の低下 ・解毒機能の低下			
問５（２点×２）	1 ・一包化にする ・薬物相互作用による有害反応を予防するためにお薬手帳の活用を勧める。			
	2 ・オブラートやお薬ゼリーを活用する ・主治医に形状の変更を依頼する。			
問６（1点×５）	① 早期離床	② 活動耐性	③ 休息	④ 残存機能
	⑤ 他職種			
問７（1点×5）	① 専門用語	② 日時	③ 準備事項 ~~方法~~	④ 場所
	⑤ 安静			
問８（1点×８）	① 身体的	② 苦痛	③ 恐怖	④ ケア
	⑤ 場所	⑥ 環境	⑦ 家族	⑧ 別れ

32